

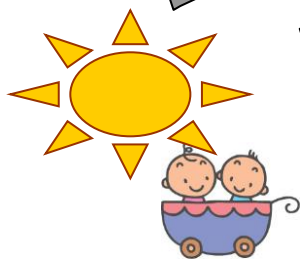
# 白老町子ども発達支援センター

2024年6月号

白老町子ども発達支援センター

白老町萩野 283-3(萩野小学校内)

TEL 83-3700



## ひだまり

### 子育て支援《ピヌピヌ》から



あちらこちらで花が咲き始め、散歩が気持ちよい季節になりましたね。  
今月も衛生管理に努め、皆さんのお越しをお待ちしています。  
是非、遊びに来てください。 \*開園時間 月~金 10:00~16:00

### 《6月のお楽しみのひろば》 10:00~11:45

6月12日(水) ママ向け講座

「ビニールポーチ作り」

※要申し込み 定員5名 ¥500

作りたいイラストや写真などを A4サイズ  
で2枚コピーし持参して頂くか、こちらで  
何点かイラストをご用意いたします。

ドライヤーを持参いただける方はお願い  
します。



こんな  
ポーチが  
作れます。

6月17日(月)~21日(金)

「夏の制作」



※Tシャツ型の画用  
紙に描いたり貼った  
りして、好きな模様  
に作りましょう。

6月26日(水) お話し会 11:15~

※新作のパネルシアター

や手袋シアター、  
大型絵本など楽しい  
お話を用意して  
お待ちしております。



### 学習に向かう体づくり

例えば、本を読むのを嫌がる子の場合、理由は様々でしょうが、両目が一点に焦点を合わせることや目の動きがスムーズかなど、学習に必須の『見るためのスキル』が不得手なのかもしれません。姿勢が悪いと言われる子どもであれば、ひょっとしたら日々の活動はこなしているように見えても、背中をまっすぐに保ち続ける背骨の強さが不十分なのかもしれません。

幼児期は、『からだ』という家の基礎部分をつくる時期。現代の生活は便利になる一方、からだを動かして、からだのスキルを育てる機会は減っています。就学前の幼児期には、からだを動かす遊びを通じて、自分の中心や右と左の体感が欠かせません。「中心や左右の認識を持つこと」「目や手がスムーズに左右を行き来すること」は、本を読んだり、字を書くことの基盤になっているからです。乳幼児期からいろいろなからだの動き方を体験させることは、とても重要です。からだを動かしてあそびましょう。(月刊クーヨン3月号抜粋)



お楽しみフォト(春)

いらっしゃいませ~☺

「からすのぱんやさん」世界へようこそ!



# 母子通園《エミナ》から



月

木々の色の新緑が優しく、日差しも暖かくなり戸外活動が心地良い季節となりました。

「エミナ」は萩野小学校の建物の中にありますが、中庭の真ん中に大きなこぶしの木があります。小学校の周辺には桜の木が沢山あります。今年も綺麗な花を咲かせ、利用される方々や職員を楽しませてくれました。自然の変化や生長に気づき、興味や関心を持つ事は友達と共感するなどして社会性を育む一歩にもなりますね。

さて、小学校・認定子ども園・保育園等では運動会の練習が始まるなど、戸外での活動が多くなる頃ですね。家に帰ると疲れからか、ダラダラしたりする事もあるかもしれませんが、気持ちを受け止め親子でゆっくりと会話をしたり、頑張っている子ども達をたくさん褒めてあげてくださいね。



子ども発達支援センターひだまり 母子通園「エミナ」って？  
今月は関係機関との連携についてです。



● 町の乳幼児健診に参加しています。

「エミナ」の言語聴覚士と理学療法士が健診の会場に参加していますので、発達や遊び、関わり方や生活面などで心配な事・分からない事など。どんな事でも気軽にスタッフに声をかけて相談してくださいね。

● 町内の保育園、認定こども園等に訪問しています。

保健師さんと一緒に保育園、認定子ども園を訪問し、関わり方、環境の工夫など専門的な部分でアドバイスをしたり、一緒に考えたりするなどして、情報交換をしています。

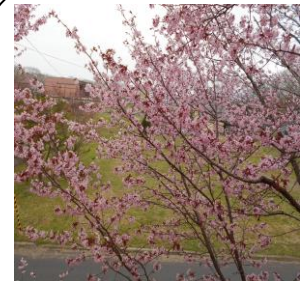
● 町内の関係機関との連携を大切にしています。

保育園、認定子ども園、小学校、中学校、教育委員会、健康福祉課、子育て支援課など、各関係機関と連携し子ども達の健やかな成長を願い、情報共有、情報交換等をしています。

※ 来月は就学前の療育について お知らせします。

☆6月の発達相談  
6月12日(水)  
26日(水)  
予約が必要です。  
担当：瀧本まで  
83-3700

・萩野小に咲いたこぶしと桜♡  
今年も春を演出しました。



カラーでお見せ出来ないのが残念です！

親の笑顔が子どもにとって1番の安心材料です♡

お家の方が子どもの気持ちに寄り添い、「えらいね」「頑張っているね」「出来る様になったね」と笑顔でポジティブな言葉を沢山かけて、自己肯定感を高めてあげてくださいね。笑顔で接してもらった記憶はその子の安心材料になります。自己肯定感と安心感、2つの心の栄養を育ててください。